

県内市町村で初 いばらきダイバーシティ宣言に登録

笠間市のダイバーシティに関するさまざまな取り組みを進めるにあたって、その取り組むべき方針を定め、令和3年10月19日、県内市町村で初めてこれを「いばらきダイバーシティ宣言」に登録しました。

1. いばらきダイバーシティ宣言とは

令和3年7月に茨城県は、活力があり、持続可能な地域社会をつくるため、関係団体等と共に「いばらきダイバーシティ宣言」を発表しました。趣旨に賛同し、宣言していただける企業・事業所・団体等を募集しています。

宣言団体:63団体(令和3年10月1日現在)

※県内市町村での宣言実績はなし

2. 笠間市の登録内容(宣言書は別紙のとおり)

【取組方針①】市民のダイバーシティ意識の醸成

年齢や性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、それぞれがもつ個性やその人らしさを発揮し、市民相互の理解のもと誰もが暮らしやすく、また活躍できる市をめざします。

【取組方針②】環境の整備(職場環境・生活環境)

それぞれがもつ価値観や能力、ライフスタイルなどの違いを認め合い、多様な働き方を促進するとともに、仕事と生活のバランスに配慮した働きやすい環境整備をすすめます。また、すべての人のためのデザイン「ユニバーサルデザイン」に配慮したまちづくりの推進により、誰もが生活しやすい環境を整えます。

【取組方針③】人材の育成(広い視野、多様な価値観を持つ人の育成)

多様性を生かした地域づくりに向けた意識啓発をすすめるとともに、広い視野をもち、新たな価値を創出できる人材を育成することで、ダイバーシティ笠間の実現をめざします。

3. 今後の取り組み

市民や企業、関係団体等への意識啓発をすすめるとともに、市施策の実施においても、職員一人ひとりがダイバーシティ社会の実現に向けた意識をもって取り組むこととします。

この件に関するお問い合わせ

笠間市役所秘書課広報戦略室 担当:桑嶋

電話番号:0296-77-1101(内線224) ファックス番号:0296-78-0612 e-mail:info@city.kasama.lg.jp



いばらきダイバーシティ宣言

急速な人口減少社会の進展や少子高齢化、経済・社会のグローバル化の進行など、社会情勢は大きく変化しております。

このような中、活力があり、持続可能な地域社会をつくるためには、多様な人材の活用により、ニーズの変化や急激な環境の変化などのリスクへの対応力を高めることが重要であると考えます。

その実現のためには、年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認等にかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会、多様性が受容されるダイバーシティ社会の実現が求められています。

私たちは、ダイバーシティ社会の実現に向けて次のことに取り組むことをここに宣言します。

1. 年齢や性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、それぞれがもつ個性やそのらしさを発揮し、市民相互の理解のもと誰もが暮らしやすく、また活躍できる市をめざします。
2. それぞれがもつ価値観や能力、ライフスタイルなどの違いを認め合い、多様な働き方を促進するとともに、仕事と生活のバランスに配慮した働きやすい環境整備をすすめます。
また、すべての人のためのデザイン「ユニバーサルデザイン」に配慮したまちづくりの推進により、誰もが生活しやすい環境を整えます。
3. 多様性を生かした地域づくりに向けた意識啓発をすすめるとともに、広い視野をもち、新たな価値を創出できる人材を育成することで、ダイバーシティ笠間の実現をめざします。

令和3年10月19日

笠間市長 山口 伸樹